

藤 沢 市 剣 道 連 盟 会 報

藤 沢 市 剣 道 連 盟

Tou Ken Puu
第 5 号

藤 沢 市 剣 道 連 盟

いにしえをかんがえていまをてらす

稽 古 照 今

藤沢市剣道連盟会長 幸 野 實

藤沢市剣道連盟は、昨年創立60周年を迎えました。

これも偏に会員各位のご努力はもとより、各方面からのお力添えの賜と深く感謝いたしております。

人間に例えますと還暦（60年で再び生まれた年の干支に還る）の記念すべき節目の年に当たり、10月には市長さんはじめ、県剣道連盟会長他多くのご来賓のご臨席を頂き、盛大に記念大会を開催することが出来ました。

今年は新しい年を迎え、市剣連の更なる発展をめざし、1月3日



には初稽古で会員のみなさんと汗を流して幸先よいスタートをきりました。

さて、私たちは日頃からそれぞれの環境や立場において剣道の修練に励んでおりますが、一般に練習のことを「稽古」といっています。その「稽」には考える、くらべるという意味があり、「古」はふるい、いにしえのことをいいます。

つまり、「稽古」とは「いにしえ古の道を稽る」ことで「先人の教えについて学び習う」という意味から「修練や修行」などの意味に使われるようになりました。

稽古について利休は「稽古とは一より習い十を知り十よりかえるもとのその一」と説き、一から順に十まで（すべて）を学び、それからは十から逆に一に戻り、繰り返し順と逆の果てしない習いを稽古と呼んでいます。

また、「二刀流極意」（笹森順造著）第2章「稽古法」の中で「剣道は、礼に始まり礼を以て行い礼に終わる」といわれ……とあります。言葉としてはいまさらと思われるかもしれませんが、最も大事な「礼を以て行い」のところが欠けているとよいうな稽古を時々見受けることがあります。

さらに、稽古仕合中は厳然たる威容を保つとともに相手の人格を尊重する。わが打突の当たりを正當に相手に認めさせ、また相手の打突の当たりを率直に認めるのが礼である。相手が「参りました」と言ったら「不十分でした」と答えるのが礼である。己の打突が当たらないのに当たったように呼号し引き上げたり、したたか打たれても「まだまだ」などと強情を張るのは剣道の礼に反すると教えています。日頃から、礼節を尊び心の通じ合う稽古を心掛けたいものです。

「尋ねてもまたたずねてもたずねてもたずねあたらぬ剣術の道」とは、一刀流中西派四代忠兵衛正が斯道の奥遠を詠んだ和歌と伝えられています。

創立60周年記念剣道大会

・藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪戦
・選抜招待試合平成24年10月14日(日)
市立秋葉台文化体育館

午前ロータリークラブ優勝旗争奪戦。

中村光雄ロータリークラブ幹事は、「剣道をしている人とはとても礼儀が正しい。人としての道を歩み続けることが剣道の道かもしれない。昔からコッコツと剣道の稽古をされてきた藤沢市剣道連盟会員各位に対して深く敬意を表し

ます」とご挨拶されました。

感謝状贈呈

川崎渉先生、伊澤俊彦先生、市成義治先生には、長年に渡り、藤沢市の剣道の普及発展にご尽力下さいました。市剣道創立60周年に当たり、記念大会場に於いて、三名の先生方に感謝状が贈呈されました。



平成24年 第19回 藤沢市剣道錬成大会の記録

藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪 学年別個人戦

	優 勝	準優勝	3 位	敢 闘 賞
小学1・2年生	小 澤 白 玖(片)	大 村 咲 季(警)	矢 口 康 太(片) 小 林 那 槻(御)	
小学3年生	福 住 幸 平(片)	板 倉 道 信(遠)	藤 原 直 輝(片) 山 田 修 士(川)	山 室 翔 太(片) 廣 橋 諒 人(片) 一 戸 鷹 治 郎(北) 瀬 畑 智 喜(滝)
小学4年生	鈴 木 啓 太(遠)	星 野 敬 太(互)	轟 木 太 陽(川) 藤 井 雅 人(遠)	亀 井 拓 郎(御) 高 森 繭 衣(青) 肥 田 拓 真(川) 本 間 理 久(信)
小学5年生	高 橋 優 毅(心)	三 枝 由 紀 恵(心)	菊 地 奈 津 実(遠) 大 平 慎 之 助(警)	井 上 あ す か(互) 酒 井 伶 奈(心) 松 田 翔 太 郎(警) 泉 颯 飛(信)
小学6年生	廣 江 風 馬(川)	山 口 陽 大(片)	羽 山 裕 太(遠) 長 谷 川 湧 基(長)	松 本 洗(信) 久 保 田 (滝) 菅 野 (遠) 星 野 大 志(互)
中学1年生	廣 吉 辰 朗(心)	花 村 遼 太 朗(片)	安 藤 源 太(片) 高 橋 美 優(心)	秋 本 鈴 之 助(川) 藤 間 瑛 雄(遠) 清 水 禄(北)
中学2年生	井 上 昇(互)	高 村 皓 太 郎(青)	大 平 晃 央(警) 佐 藤 亨(遠)	田 辺 都 亜(川) 紐 本 雅 人(北) 斉 藤 玲 央 奈(片) 吉 岡 丈(北)
中学3年生	白 水 晃 大(遠)	廣 江 祐 馬(川)	瀧 柚 太 郎(片) 我 妻 駿 介(信)	

藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪 団体戦 (少年少女の部)

カッコ内の数字は学年を示す

順位	団 体 名	先鋒 小4以下	次鋒 小5以下	中堅 小6以下	副将 中学生以下	大将 中学生以下
優勝	剣 修 館 川 崎 道 場 A	轟 木 太 陽 (4)	大河内裕矢 (4)	廣 江 風 馬 (6)	松岡真菜美 (3)	廣 江 祐 馬 (3)
準優勝	片 瀬 剣 友 会 B	福住 幸平 (3)	小 环 幸 之 助 (4)	倉 持 汐 里 (6)	安 藤 源 太 (1)	杉 岡 千 尋 (3)
3 位	互 心 会 剣 道 ク ラ ブ A	星 野 敬 太 (4)	井 上 あ す か (5)	星 野 大 志 (6)	加 藤 詩 乃 (1)	井 上 昇 (2)
3 位	藤 沢 警 察 署 少 年 剣 道 推 進 会 A	久 野 伊 織 (4)	松 田 翔 太 郎 (5)	入 佐 宙 (6)	大 平 晃 央 (2)	山 添 翔 太 郎 (2)



神奈川県剣道連盟小林会長

来賓、小林県連盟会長が
ご挨拶の中で、戦後剣道が
禁止されて、約7年間続き
ました。その中で、当時の
先生方が大変ご苦労され
話をされ
ました。

創立60周年記念剣道大会 団体戦（招待試合の部）

順位	団体名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
優勝	藤 沢 市 剣 道 連 盟 A	樋口 崇	松原 聡美	中田 圭介	萩本 健吾	由井 一夫
準優勝	相 模 原 市 剣 道 連 盟	内田 真之	立迫 明美	石井 鉄雄	川村 振二	尾上 吉美
3 位	鎌 倉 市 剣 道 連 盟	滝田 敦史	千葉三千子	元島 祐治	山田 英児	岡崎 秀朗
3 位	大 和 市 剣 道 連 盟	柴木 利典	倉谷麻里子	堀ノ内秀志	沖津 和義	鈴木 康隆



昔から剣道においては、事理一致の大事さを教えています。
事とは事実であり、剣道では技、動作、形です。即ち手、足、剣の働きです。理は理論、筋道であり、剣道では気、理合です。即ち心（精神）の働きです。
剣道は、学ぶべき基礎的なものが多く、長い年月を要するものであり、事理一致を無視しては苦勞・無駄が多く、その根幹たる肝心なものは身に付けることはできません。
山岡鉄舟は「撃剣の方術は事理の二つを鍛錬するに在り。事は技なり、理は心なり、而して練磨功つむときは事理一致の妙所に至る」と述べています。先人の修練の在り方を聞いても事理一致の大事なこととが分かったと思います。
この事柄をわきまえて、理合と動作、心と技の一致した剣道、即ち無理のない理にかなった、正しい心技一体の剣道の修練に心掛けて稽古していききたいものです。

(忠)



事理一致

第67回藤沢市民総合体育大会

— 剣道競技の部 —

平成24年8月19日(日)
市立秋葉台文化体育館



早朝より、開場を待ちかねていた選手は、入場後入念な準備体操。元気な掛け声、全身力のこもった素振り。元気ある試合展開と、日ごろの稽古の成果を発揮せんとする選手たちの意気込みをそこに感じました。

各戦績は別表のとおりです。



平成24年 第67回藤沢市民剣道大会の記録

参加数	優勝	準優勝	3 位	3 位
女 小 1 ・ 2	3 木 村 咲 季 (警)			
女 小 3 ・ 4	10 久 野 伊 織 (警)	清 水 花 純 (遠)	天 野 茅 波 (遠)	花 方 涼 香 (遠)
女 小 5 ・ 6	9 井 上 あすか (互)	倉 持 汐 里 (片)		
女 中 1	33 濱 村 皐 (心)	加 藤 詩 乃 (互)	沖 津 舞 (湘学)	紐 本 まどか (六奈)
女 中 2	38 喜 田 明日香 (六)	伊 藤 舞 (村岡)	鈴 木 聖 海 (六)	鈴 木 美紗子 (藤岡)
女 中 3	11 松 岡 真菜美 (川)	高 橋 理々子 (六)	杉 岡 千 尋 (片)	佐 藤 紗世理 (片)
女 高 1	10 草 津 沙莉奈 (湘工)	長 澤 杏 優 (片)	山 崎 望 美 (川)	勝 亦 美由紀 (湘工)
女 高 2 ・ 3	17 松 浦 由 季 (湘工)	山 辺 伊織里 (湘工)	沼 澤 香 (西)	片 山 奈津子 (鎌)
女 一 般	10 野 口 枝 里 (遠)	杉 岡 佳 子 (片)	長 澤 美穂子 (片)	稲 垣 友紀子 (青)
男 小 1 ・ 2	12 増 田 龍 斗 (尚)	小 澤 白 玖 (片)	矢 口 康 太 (片)	小 林 那 槻 (御)
男 小 3	35 板 倉 道 信 (遠)	福 住 幸 平 (片)	野 口 哲 平 (川)	松 本 将 人 (高陵)
男 小 4	33 杉 本 由瑞樹 (高陵)	寺 田 健 斗 (信)	吉 田 颯 祐 (求)	友 部 遼 大 (片)
男 小 5	14 高 橋 優 毅 (心)	泉 颯 飛 (信)	福 井 雄 大 (藤北)	堀 江 勇 太 (高陵)
男 小 6	30 佐 藤 玲 音 (高陵)	西 田 拓 海 (求)	星 野 大 志 (互)	松 本 洸 (信)
男 中 1	62 廣 吉 辰 朗 (心)	西 田 直 人 (救)	野 口 瑠 音 (湘学)	穂 坂 拓 海 (遠)
男 中 2	45 鈴 木 克 海 (長)	山 田 哲 平 (川)	大 平 晃 央 (警)	山 添 翔 太郎 (警)
男 中 3	18 白 水 晃 大 (遠)	中 田 俊 介 (片)	廣 江 祐 馬 (川)	瀧 由 太郎 (片)
男 高 1	25 佐 藤 広 基 (湘工)	矢 作 大 樹 (翔陵)	遠 藤 壮 流 (湘工)	三 澤 亮 介 (湘工)
男 高 2 ・ 3	38 廣 吉 政 治 (心)	藤 間 友 作 (湘工)	松 岡 祥 平 (川)	二 宮 健 勇 (湘工)
男 一 般 初 以 下	11 井 上 和 博 (高陵)	門 井 次 郎 (高陵)	藤 村 悟 史 (警)	上 原 正 三 (滝中)
男 一 般 2 ・ 3 段	39 金 子 直 樹 (滝)	野 田 周 吾 (川)	三 品 悠 貴 (遠)	前 田 修 二 (市)
男 一 般 4 段	25 兼 松 宏 宇 (三菱)	溝 口 翔 太 (求)	梅 木 透 (信)	福 田 光 彦 (市)
男 一 般 5 ・ 6 ・ 7 段	28 高 科 建 太郎 (信)	菅 谷 和 彦 (市)	貝 原 俊 明 (遠)	大 平 栄 一 郎 (市)

祝
有功賞

市剣道連盟前会長、伊澤俊彦先生に全日本剣道連盟より有功賞を受賞され、県連小林会長より授与されました。又、市連新年会に於いて幸野会長より会員の皆様にご披露されました。

祝
昇 段

昇段おめでとう。

一に稽古、二に稽古…稽古はウソをつきません。これから精進してください。

24年度前期 合格者

七段 高科建治(信明館) 朝長忠雄(片瀬)

植田 実(藤青)

錬士 櫻井利蔵(長後)

六段 青柳章一(慶応)

五段 井上光司(互心) 庄司幸市(互心)

四段 山尾忠弘(川崎道場) 大橋 等(遠藤)

福田光彦(市役所) 廣吉春香(心剣)

伊藤弘毅(三菱)

三段 角戸信晴(啓心) 山崎孝幸(信明館)

沼澤 香(藤西) 山下祐紀子(川崎道場)

千葉美雪(湘学) 佐藤文乃(湘学)

二段

森川智恵(藤西) 清野美涼(湘学)

乗田萌佳(鎌倉) 田中優花(藤西)

遠藤みなみ(日大) 清水千希(日大)

高橋佳奈(心剣) 橋本和也(川崎道場)

古知屋雅康(川崎道場) 田中颯太(横商大)

石田 怜(川崎道場) 梅木悠矢(鎌倉)

木村 俊(遠藤) 浅井智章(湘学)

宮川知之(湘学) 笹子 晃(遠藤)

青木優一郎(横商大) 重田大策(遠藤)

高橋龍弘(平学) 松本 涼(鎌倉)

大友謙一(三菱)

渡辺周平(明治) 吉田健太郎(明治)

瀧 柚太郎(片瀬) 白石祥梧(二中)

関野弘一(藤ヶ岡) 高野駿也(明治)

深尾 蓮(六会) 大森達矢(湘洋)

白水晃大(六会) 瀬畑宏喜(滝剣)

山内快恭(遠藤) 田原 諒(六会)

我妻駿介(信明館) 松原克弥(心剣)

花岡瑠斗(六会) 高橋航平(六会)

中田峻介(片瀬) 新村健太(明治)

奥野太一(六会) 泉水史樹(六会)

島 稜雅(遠藤) 菊地元太(遠藤)

廣江祐馬(川崎道場) 吉田航成(滝剣)

菱田大雅(藤嶺) 中嶋祥希(遠藤)

石田聡太郎(慶応) 玉城涼太(遠藤)

初段

馬淵敏暢(信明館) 舟橋武志(啓心)

三枝基樹(心剣) 泉 敬裕(翔陵)

岡野沙友里(片瀬) 松岡真菜美(川崎道場)

山口珠子(明治) 高橋理々子(六会)

杉岡千尋(片瀬) 沼田美咲(六会)

西山瑞月(六会) 富安くるみ(聖園)

小野瀬麻菜(聖園)

大村 陸(藤青) 岩本遼佑(慶応)

荒木英士(六中) 山田哲平(川崎道場)

和田 衛(御所見) 大澤悠介(藤青)

澁谷春輝(湘学) 小茂田樹(二中)

山内利峻(遠藤) 吉岡 丈(六会)

森 悠基(川崎道場) 齋藤玲央奈(片瀬)

鴻谷宙輝(藤青) 森川敬太(六会)

暁 康士朗(明治) 高山学之(明治)

勝田晴貴(二中) 田村友貴(明治)

秋山八雲(湘学) 水野元太(慶応)

紐本雅人(六会) 川村佳輝(信明館)

井出風之介(御所見) 新田哲朗(湘洋)

鳴海悠太(村岡) 八木沢 綾(一中)

池田怜矢(村岡) 川勝康平(明治)

田中雅人(日大藤) 飯田悠人(湘工)

岸本 悠(啓心) 山科隆典(明治)

伊藤文貴(啓心) 田辺都亜(川崎道場)

長谷川綾香(明治) 福島花奈(藤ヶ岡)

24年度後期 合格者

七段 宮治信介(市役所) 中村幸夫(川崎道場)

教士 貝原俊明(遠藤) 望月 稔(遠藤)

六段 井出 猛(御所見) 巽 浩之(川崎道場)

後藤真二(修武会) 傍島正純(藤青)

錬士 矢口敏一(片瀬) 吉川 秀人(川崎道場)

五段 兼松宏宇(三菱) 廣江佳行(川崎道場)

四段 山上泰輝(片瀬) 古川晃太郎(日大)

金子直樹(滝の沢) 宮木 聡(六会中)

山田憲良(片瀬) 根本 泰(遠藤)

鈴木 明(藤青) 杉岡佳子(片瀬)

廣吉将吾(心剣)

(次頁につづく)

祝 平成24年度 全日本剣道連盟少年剣道 教育奨励賞受賞

『二重の喜び』 小磯 雄一

遠藤少年剣道部は、1972年4月遠藤市民センター体育館で産声をあげました。以来、多くの子供達が入門し、指導の先生方、後援会の役員および保護者の皆様のご協力により、昨年創立40周年を迎えることができました。

さらに年末には、全日本剣道連盟より栄誉ある「少年剣道教育奨励賞」をいただきました。これを励みに今後とも一層の精進をいたします。遠剣部員を代表し、羽山祐太君に剣道に向き合う気持ちを書いてもらいました。

『僕と剣道』 小学校6年 羽山 祐太
僕は幼稚園の頃から棒で遊ぶのが大好きで、小学2年生になってから遠藤青少年剣道部に入りました。剣道を始めてとても楽しいことは、試合に出場できることです。すごく緊張するし、ちょっと逃げたくなってしまうこともあるけど、勝ち進んでいる時は楽しくなつて

きます。きつかったことは暑中稽古と夏の合宿です。それは、暑くて苦しいし、足にまめができ辛くてやめたくなるけど、小磯先生はいつも暑い時の稽古を頑張れば、涼しくなった時にすごくいい剣道ができるとはげましてくれました。だから平成24年度の練成大会は、入賞できたのかなと思います。団体戦の決勝で僕は負けてしまいました。うでもケガをしました。痛いのと悔しい思いで泣いてしまいました。小磯先生は「名誉の傷」だと言ってくれました。

市合同稽古に行くようになってからは、他の道場の先生からは、いつもとは少し違う稽古してもらいワクワク・ドキドキします。同じ6年生で、何度も試合でいっしょになる男の子とも話をするようになって、剣道仲間が増えればいいなと願っています。

中学生になると勉強や部活で大変になるけど、遠藤青少年剣道部で剣道をずっと続けて行きたいと思っています。

(前頁より)

三段 阿部貴之(藤西) 浅野 徹(鎌倉)

松本慧士(鎌倉) 新井康平(平学)

木村公太郎(遠藤) 荻野芳則(片瀬)

(高須賀 誠啓心) 楠本真優(湘工)

松下千紘(鎌倉) 山田千聖(鎌倉)

山辺伊織里(湘工)

二段 新 大軌(遠藤) 鈴木昌治(修武会)

山上雪居(片瀬) 白井秀明(遠藤)

渡辺紗生(川崎道場) 田中智美(明治)

市川奈己(明治) 佐藤紗世理(片瀬)

芦澤万柚(慶応) 矢部麻奈(聖園)

奥田祐希(日大) 佐藤 亨(遠藤)

山添翔太郎(藤警) 井上 昇(互心)

中島裕太郎(藤警) 大平晃央(藤警)

高森皓太郎(藤青) 竹長大知(滝剣)

草柳直稀(湘南台) 森田大基(慶応)

田口雅也(湘南) 松浦泰斗(慶応)

平野雅也(日大) 上原正三(滝中)

初段 浪井彰洋(啓心)

森中佳菜子(湘洋) 濱野芽衣(明治)

保川 望(藤警) 國見圭奈子(湘洋)

望月友梨佳(藤北) 森 小春(村岡)

(喜多京香(聖園) 芦田果歩(聖園) 嶋本 渚(慶応) 長井雅子(遠藤)

大河内 緑(川崎道場) 大曾根混太(慶応)

塚越洋明(片瀬) 槻谷岳丈(松下)

岡崎広樹(松下) 阿部博文(片瀬)

林 俊輔(松下) 浦壁昭悟(遠藤)

春日 茂(遠藤) 友部周造(片瀬)

田畑貴美(川崎道場) 長谷部里菜(湘洋)

一九千穂(二中) 保坂くるみ(湘洋)

長谷部沙苗(二中) 山口絢子(湘洋)

浦橋佑里(村岡) 古屋小都枝(明治)

伊藤 舞(村岡) 芝 歌織(村岡)

比留間心咲(滝中) 古根村隆文(藤嶺)

秋本鈴之助(川崎道場) 花村遼太郎(片瀬)

穂坂拓海(遠藤) 森 悠二(村岡)

村松英俊(湘洋) 森内和哉(滝中)

長瀬和基(川崎道場) 中川寛隆(滝中)

石部優貴(村岡) 笠原大希(滝中)

森 悠帆(滝中) 佐々木規之(村岡)

渡邊直樹(藤嶺) 中村 隼(御所見)

磯田光希(藤西)



随 想



出る釘は伸ばす

藤沢剣道連盟相談役 伊 澤 俊 彦

藤沢市剣道連盟創立60周年おめでとうございます。

昭和38年4月に湘南工大附属高校に勤務。同時に藤沢市剣道連盟の会員に。当時の修武館道場には、大村隆・高科明・諸節清旭・伊澤善作・久木善蔵・白井秀雄・由井大・大津孝雄・石井皓先生方との厳しくも楽しい稽古は夜遅くまで続きました。

昭和53年から県高体連専門部委員長を21年間続けることが出来たのは、「能ある鷹には爪を出させ」「出る釘は伸ばす」この方針で専門部の組織の充実と協力精神のおかげで、後輩の先生が力を發揮され支えて頂きました。現在は山崎輝美委員長が益々成長させて、来年の神奈川インターハイの活躍を何より楽しみにしています。

57年には、当時の県剣道連会長増田真夫先生の依頼で、県剣連の30周年誌の編集に携われたことも大切な

思い出です。

専門部の仕事で横浜文体に於いて関東大会・全国教職員大会・全国東西大会等々、無事成し遂げた先生方の力は絶大。秋葉台体育館が出来る間、湘南工大体育館で市民大会を開催。当時の剣道人口は多く、800名を超えていたことも懐かしい限りです。

46年頃から市の事務局の仕事で、学校勤務・部活指導・高体連・修武館道場と仕事が多岐にわたる、あせらず、気負わず、手抜かずをモットーに來た積りですが、多くの先生方のお力添えのおかげであつたと痛感しています。

修武会の大久保彦左衛門の様な久木田先生の後を、市成義治先生が継がれ、小川・竹内・遠藤各先生のお陰で続けることが出来ています。

藤沢市剣道連盟会長、幸野實先生が中心となり、諸節寛行先生と共に

今後とも剣道の普及と指導にご尽力下さることをお願いし、藤沢市剣道連

盟の一層のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

支部だより
(第5回)

修武館、そして修武会へ

竹 内 迪 子

「修武会」は、かつて伊澤善作先生が開館された修武館の閉館に伴い、その流れを汲んで平成16年に発足しました。

「修武館」は、善作先生が昭和25年に藤沢に居を構えられた後、昭和30年に鶴沼花沢町に開館されたといっています。

私が入門したのは昭和42年頃でしたが、当時の道場内は大人、子供達、元立の子を洗うようにひしめき合い、時間がやたら長く感じたのを覚えています。

今は亡き善作先生を始め、大村隆先生、福島先生のお父上、高科明先生、由井大先生、山本先生、大津先生、西内先生、久木田先生など、錚々たる先生方に夢中で懸っていたことを懐しく思い出します。

俊彦先生の体調や諸事情で、修武館が閉館することになったのは平成15年の暮でした。「何とか道場の流れ

を引き継ぎたい」という門下生の意を汲んで、鶴沼中学校の一般開放を利用し再開出来るよう手を尽くして頂きました。

剣友会の形を取るようになった現在、市内・市外から参加者が集い、50数名に登録して頂いています。もちろん全ての人が常に参加出来る訳ではありませんが、20名前後の人達が近くを通過する電車の音に負けない声量で稽古に励んでいます。

修武会としての稽古は土曜日1回になったものの、他支部所属の元立ちの先生方の参加も増え、内容は充実して来しました。

現在、稽古に立たれないものの道場に顔を出されてジッと見守る伊澤先生、福島先生の視線を肌を感じるだけで、身が引き締まる思いで立ち合うこともしばしばです。

今後とも修武館の精神を引き継ぎ、稽古に臨みたいと思っています。

I N F O R M A T I O N

平成25年度 藤沢市剣道連盟・年間行事日程

平成25年 1月30日

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
4	7	日	9時から	1級審査会	川崎道場
	7	日	14時から	市合同稽古会	秋葉台2F(全)
	13	土	14時から	稲門剣友会・市高段者研究会	秋葉台2F(全)
	28	日	13時から	市小学生強化練習会	秩父宮(全)
5	6	月・祝	13時から	市中学校受審者講習会	秋葉台3F
	12	日	13時から	小学生強化練習会・合同稽古会	秋葉台2F(全)
	26	日	14時から	市剣道連達講習会・市高段者稽古会	秋葉台2F(全)
6	2	日	9時から	Aブロック2級以下審査会	明治中学校(未定)
	2	日	13時から	小学生強化練習会・合同稽古会	秋葉台2F(全)
	9	日	9時から	Bブロック2級以下審査会	川崎道場
	16	日	13時から	市剣道審判法講習会・市高段者稽古会	秋葉台3F
7	7	日	14時から	市合同稽古会	秋葉台2F(全)
	21	日	14時から	市高段者研究会	川崎道場
8	4	日	13時から	小学生強化練習会・合同稽古会	秋葉台3F
	18	日	9時から	藤沢市民総体剣道競技の部	秋葉台第1
	25	日	14時から	市剣道連高段者研究会	秩父宮(半)
9	1	日	9時から	1級審査会	川崎道場
	1	日	13時から	市剣道審判法講習会・合同稽古会	秩父宮(全)
	14	土	14時から	県高齢者剣友会稽古会・市高段者研究会	秋葉台3F
	23	月・祝	13時から	中学生剣道形講習会	秩父宮(全)

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
10	6	日	13時から	小学生強化練習会	秋葉台2F(全)
	20	日	14時から	市合同稽古会	秋葉台3F
	27	日	14時から	市剣道連高段者研究会	秩父宮(半)
11	3	日・祝	14時から	市合同稽古会	秋葉台2F(全)
	10	日	13時から	市代表選手強化練習会・市高段者研究会	秩父宮(全)
	17	日	9時から	第20回藤沢市剣道錬成大会	秋葉台第1
12	1	日	14時から	市剣道連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	15	日	13時から	市剣道指導者研修会・市高段者研究会	秩父宮(全)
26年 1	5	日	14時から	市合同稽古会	秋葉台2F(全)
	26	日	14時から	市剣道連高段者研究会	秩父宮(半)
2	2	日	13時から	小学生強化練習会・合同稽古会	秋葉台3F
	9	日	13時から	市中学校剣道形講習会	秋葉台2F(全)
	23	日	14時から	市剣道連高段者研究会	秩父宮(半)
3	9	日	13時から	市剣道連剣道形講習会・合同稽古会	秋葉台3F
	16	日	14時から	市剣道連高段者研究会	秩父宮(全)

※秋葉台＝秋葉台文化体育館 秩父宮＝秩父宮記念体育館
(全)＝柔剣道場使用 (半)＝剣道場使用
(注)市内小学生強化練習会：13：00～15：00
市合同稽古会：15：00～17：00

創立60周年

記念事業を終えて

今年度は藤沢市剣道連盟創立60周年に当たり、秋の錬成大会、午後に近隣県下支部の連盟を招待し、記念大会を企画しました。実行にあたり、事務局と企画、大会、指導の三専門部会でチームを結成し、井手大会専門部長をリーダーに詳細にまとめて頂きました。

大会当日は、神奈川県剣道連盟会長・小林英雄先生並びに来賓の方々のご臨席を頂き、盛大に開催することが出来ました。

午前は藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪戦と個人戦。午後の招待試合開会式では、30歳から60歳の各連盟の代表選手が整然と列をつくり、静なる姿勢の中に、内なる闘志が感じられました。緊迫した試合会場。阿部審判長の「試合開始」の号令で各コート、熱戦が展開されました。決勝に進んだのは、相模原市剣道連盟と藤沢市剣道連盟Aチーム。競り合いの末、藤沢Aチームが見事優勝致しました。

60周年祝賀会は、秋葉台体育館2階のレストランで行い、小林英

雄先生はじめ各連盟会長、選手の皆様にも多数ご出席頂き、総勢95名のご参加となりました。会場の手狭が心配されましたが、立食で行い、藤沢チーム優勝も重なり、会場いっぱい大いに盛り上がり無事に創立60周年記念事業を、滞りなく終える事が出来ました。記念事業実行委員の諸先生、お疲れ様でした。又、長後剣道協会も60周年を迎え、懐かしいメンバーと共に、式典が行われました。



(企画広報部長 永島)

藤沢市剣道連盟会報 第5号

平成25年 3月15日 発行

発行 藤沢市剣道連盟
神奈川県藤沢市高倉2300事務局
電話 0466-44-2001

印刷所 アミーデザイン

編集委員 永島修治 由井一夫 高科建治
小林一雄 竹内迪子 阿部剣朗
岡本章寿 井出 猛 澤原 隆

藤沢市体育協会 藤沢市剣道連盟

http://www.fujisawa.taikyoo.org/content/view/51/48



選手宣誓



大会準備の様様



幸野大会会長挨拶



ロータリー旗授与



居合立合い



来賓ロータリアン挨拶



居合道



審判員打ち合わせ



審判法講習会



少年強化練習



指導者講習会



日本剣道形研修会



稲門剣友会合同稽古会



高段者研究会



60周年祝賀会



講習会